

全国各地の共励会、共進会



即売会には褐毛和種21頭が出品された

の数ナシ～星3
(星の数が多いほど厳しい基準の飼育方法)に分ける独自の評価基準を制定。肉質については赤身の割合が70%以上、BMS No.2～4が求められる。

審査講評では「出品体重を厳正にしたことで枝肉重量が昨年に比べて15kgほど軽くなっていたが、

平均が502kgと十分な大きさだった上、ロース芯面積や皮下脂肪は昨年並みとバランスの良い枝肉が多かった」と話され、特別推奨牛については「バラの厚さやロース芯の大きさ、肉の色など非常に優れたものをもっていった」と評された。

また、販売会前日に行われた生産者表彰式では、穴見理事長が「今後も増頭に向けて励んでいき、あか毛和牛認定農場枝肉販売促進会が続いていくような形を望みたい。販売促進づくりについても、熊本県や関係者の方からバックアップを受けている」と話し、今後の普及拡大を強調した。

全日本あか毛和牛協会

令和元年度 あか毛和牛認定農場 枝肉販売促進会

特別推奨牛は3千円で (株)つばめが購買

一般財団法人全日本あか毛和牛協会(穴見盛雄理事長)は7月6日、令和元年度あか毛和牛認定農場枝肉販売促進会を埼玉県和光市の(株)アグリ・ワン和光ミートセンターで開催した。褐毛和種21頭が出品され、特別推奨牛には津留孝二さん(下写真⑤)=左側は津留氏の子息)の出品牛(星1つ、去勢、A3、枝肉重量539kg、BMS No.4)が輝き、ちぎり方式で行われた販売会では(株)つばめがキロ単価3,000円で購買した。

同協会では協会登録農家から出荷される牛を粗飼料の給与割合や飼育方法などで4クラス(星

